

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス 三葉

支援プログラム（放デイ）

作成日

7年

3月

1日

法人（事業所）理念		子どもたち一人ひとりの“その子らしさ”を大切に、児童も保護者も安心して過ごせる居場所作りを目指します。	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ○「できた」が増やせる支援 ○「困った」が減らせる支援 ○ 児童の興味関心をベースにした支援 ○ 児童の発達状況に合わせた支援 	
営業時間		8時30分から17時30分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服や靴の着脱、整理整頓の支援を行い、身辺自立を目指します。 ・食育活動を通して様々な形態や味の食べ物を食べる経験を積み、食への興味を促したり食べる楽しさを知ることができるように支援します。 ・日常の健康状態のチェック、手洗いうがいを習慣化し、健康状態の維持・改善を図ります。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことの楽しさを知り、体力・筋力・持久力・バランス力等を養います。 ・粗大運動により体の動きの安定を図ったり、微細運動（すくう、握る、つまむ、ちぎる、両手動作など）により手指動作の向上を図ります。また、製作や諸活動を通し、正しい用具の使い方をすることができるよう支援します。 ・感覚の特性を評価し過敏・鈍麻へ対応するとともに、生活しやすいよう環境等の調整を行います。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知や行動の手がかりとなる数・数量・色・大小・形・空間・時間等の概念形成が習得できる支援を行います。 ・スケジュール（予定表、写真やイラスト等）の確認やタイムタイマーの活用により、見通しを持ち、次の行動への切り替えがスムーズに行えるよう支援します。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけではなくジェスチャーや絵カードなどの活用など、個々の状況に合わせた伝達手段を模索し、意思伝達がしやすいよう支援します。 ・自分の考えを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりする場を多く取り入れ、自他の気持ちに気づき表現する機会をつくります。 ・不適切な表現については、都度その場で望ましい言動を共に考え、お互いに心地よいコミュニケーションが取れるよう、繰り返し丁寧に関わります。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での関わりの中で、他者との関わりを増やし人間関係の形成を促します。 ・順番・交代・役割・ルールを守る・指示に沿った行動をするなど、社会に適應するために必要なスキル獲得を支援します。 ・自己の行動や感情に気付いたり、対処法を考えるなど気持ちのコントロールやストレスの発散方法などを考えます。 	
家族支援		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進級や進学に向けての情報共有や支援を行います。 ・ライフステージの意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や学校、事業所等関係機関との連携を図り支援体制を構築します。
地域支援・地域連携		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○内部研修 （防災訓練、虐待防止・身体拘束廃止の研修、BCP研修（非常災害、感染症）食中毒及び感染症まん延防止のための研修など） ○外部研修 ○資格取得支援
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ○季節行事：季節にちなんだ活動などイベント行事を定期的実施しています（入学/進級を祝う会、こどもの日、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分、ひなまつり） ○外出活動：公園遊びの他、社会体験、地域施設などの社会資源の活用 ○食育活動：クッキングや季節の食材提供 ○地域や法人内事業所との交流 	

※ 個人の発達段階に合った介入を行い、成長発達を促します。